

はじめに

東京外かく環状道路の関越道から東名高速までの区間については、昭和41年の都市計画決定以来、今日まで事業化に至っていません。

現在、国と東京都では、沿線地域の住民、利用者や国民一般に情報を公開した上で、広くご意見をお聴きしながら検討を進めています。

検討にあたっては、計画の構想段階から沿線地域の課題について具体的に検討し、想定されるさまざまな案を提示することにより、地域の皆さんのご意見をお聴きしながら、よりよい案としていくことが重要だと考えています。

三鷹市～調布市の地域では、中央道とのジャンクションや、東八道路や国道20号へのインターチェンジの設置の有無による効果や影響等、共通する事項があり、今回、これらについてご意見をお聴きしていきます。

こうしたことは、外環の必要性の議論に資することと考えています。

より多くの皆さんから積極的にご意見をいただけますよう、宜しく願いいたします。

1. 東京外かく環状道路の計画検討 1

- ・東京外かく環状道路とは
- ・東京外かく環状道路(関越道～東名高速)の経緯
- ・計画検討の流れ
- ・外環の必要性 3

2. 地域の課題 5

- 外環の必要性について議論する上では、地域の課題について更にご意見をお聴きする必要があります。
- これまでの、調布市、三鷹市での地域毎の話し合いで出された課題
周辺の状況 7

3. インターチェンジ検討案の比較 9

- ・インターチェンジ検討案
 - ・インターチェンジ検討案を比較検討する視点
1. 道路交通への効果と影響 11
 2. 利便性の向上 13
 3. 生活への影響 15
 4. 周辺環境への影響 17
 5. 事業費 21

参考(インターチェンジに関する意見) 22

東八道路インターチェンジ及び 国道20号インターチェンジの検討案比較総括表 23